

Tokio Marine *Insights*:

Group CEO Small Meeting

2025年9月5日



Tokio Marine Holdings

*Inspiring Confidence.
Accelerating Progress.*



自己紹介

経歴：

1994年4月	東京海上火災保険 入社
～2002年6月	海外再保険営業部/火災新種業務部/ 企業商品業務部
2002年7月	海外MBA留学（Stanford Univ.）
2004年7月	航空保険部（営業およびU/W）
2014年4月	Tokio Millenium Re.（NY）駐在員
2019年4月	東京海上日動火災保険 経営企画部部長
2021年4月	東京海上HD 経営企画部長
2023年4月	常務執行役員（北米・中南米）
2025年6月	取締役社長 グループCEO（現職）

座右の銘：

「Where there is a will, there is a way.」

「地の塩、世の光」



小池 昌洋
Masahiro “Masa” Koike

当社グループの現状認識



これまでの歩み：

- 東京海上フェーズ 1（～2000年）
 - 日本におけるリーディングカンパニーとして市場を牽引
- 東京海上フェーズ 2（2000年～）
 - 海外への積極的な事業展開

培ってきた強み：

- 各国・各地域でトップクラスの成長を実現できるビジネスモデル
- グローバルなリスク分散
- グローバルなグループ一体経営

今後フォーカスしていくこと（東京海上フェーズ3）

各ビジネスの進化



Japan保険事業

- 旧来の業界慣行から脱却し、「保険本来の価値」の提供に一層注力
- アンダーライティング力をはじめとする競争優位性の磨き上げ



International保険事業

- 北米をはじめ、成長が期待できる地域の事業拡大
- 地域的なリスク分散の推進
- これらを加速させるM&Aの追求



ソリューション事業

- 日本におけるビジネスの早期確立と、海外へも展開していく可能性の模索
- ソリューション事業を収益の柱の一つに育てることで、収益構造を変革。グループ全体の資本負荷も低減

グループ戦略の進化



グローバルなリスク分散

- ボラティリティが低く、持続的な利益成長を可能とする事業ポートフォリオを追求



グローバルなグループ体経営

- 経営へのグローバルなタレント登用を促進し、多様性を活かしたグループ体経営を更に推進

大切にすること

**社員を起点とする「東京海上ならではのサステナビリティ」を通じて、
全てのステークホルダーに貢献し続ける**

- お客様や社会の課題解決に貢献し、お役に立った結果として当社自身も成長し続ける
- その起点となるのは、
パーパスに共感した社員一人ひとりの「Integrity」「Ownership」「Accountability」

THANK YOU.



Tokio Marine Holdings

*Inspiring Confidence.
Accelerating Progress.*

